

ALBION WEB NEWS

アルビオンと東京農業大学が共同で設立した 「スリランカ伝統植物研究所」開所式を開催

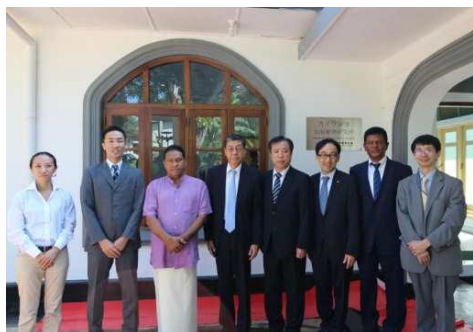
>>>2015.02.09

株式会社アルビオン(東京・中央区、小林 章一代表取締役社長)と東京農業大学(東京・世田谷区、高野克己学長)は、2014年4月に開設した「スリランカ伝統植物研究所」の開所式を、2015年1月27日に現地スリランカで開催いたしました。

開所式および記念式典では、スリランカの伝統医療省大臣や在スリランカ日本大使館の粗信仁大使、スリランカ名誉総領事メダガマ・ガマゲ・スニル氏をはじめとする関係者の方々のほか、日本からはアルビオンの小林章一社長、東京農業大学の渡部俊弘副学長らが出席し、午前10時より研究所にて開所式(19名出席)、また午後7時からはコロンボ市内のホテルで記念式典(約120名出席)を行ないました。

挨拶に立ったアルビオンの小林社長は、「皆様のご協力で、スリランカに研究所をつくることのできた。多くの女性の皆様に喜んでいただけるような、独創的な新しい成分を開発していきたい」と述べ、東京農業大学の渡部副学長は「スリランカの発展につながるような研究をしたい」と話しました。また、スリランカ伝統医療省のラージタ・セナラトネ大臣は「ここスリランカに研究所をつくられたことは、大変名誉なことであり、とても嬉しく思う。スリランカと日本の発展に期待したい」と語りました。

今後は、東京農業大学では教員や学生を派遣し、アルビオンからは研究部門のメンバーが出張して、アーユルヴェーダに関する植物の栽培試験や分析、さらに新しい成分を開発するなど、産業化に向けた研究を推進してまいります。また研究所での分析データ等はスリランカにフィードバックし、日本の研究ノウハウや技術をお伝えするとともに、スリランカの産業を支援する研究活動を行ってまいります。



左から4人目より、粗大使、渡部副学長、小林社長、スニル氏



記念式典で挨拶されるスリランカ伝統医療省大臣

【研究所概要】

名称	スリランカ伝統植物研究所
所在地	Thoppuwa Junction Chilaw Road Waikkala, Sri Lanka (コロンボ市内より約45km)
建物	平屋建て(レンガ、コンクリート)
延床面積	約261㎡



■資料

【アルビオンと東京農業大学との取り組み】

- 2011年 ヨモギの成分や機能性に関する共同研究開始
- 2013年4月 生物産業学部と包括連携協定締結
スリランカでの研究推進で小林社長、渡部教授(現副学長) スリランカを訪問
- 11月 生物産業学部食品香粧学科に寄附講座開設「企業と学ぶ化粧品学」
- 2014年4月 スリランカ伝統植物研究所開設
小林章一社長 東京農業大学客員教授に就任
- 9月 生物産業学部食品香粧学科に寄附講座「企業と学ぶ化粧品学」開設予定

【スリランカ 基本情報】

- 国名：スリランカ民主社会主義共和国
(Democratic Socialist Republic of Sri Lanka)
- 人口：約2,028万人 (2012年3月)
- 首都：スリ・ジャヤワルダナプラ・コッテ



南アジアのインド亜大陸(インド半島)の南東に、ポーク海峡を隔てて位置する共和制国家。「光り輝く島」という意味の名前を持つ国。旧国名をセイロンと言い、世界でも有数の紅茶生産国。自然の豊かさから「インド洋の真珠」とも呼ばれている。また近年では隠れたりゾート地として世界でも注目され、観光地としての注目度が急速に高まっている。

【株式会社アルビオン】

所在地：東京都中央区銀座1-7-10
創業：1956（昭和31）年3月2日
資本金：7億6098万円
代表：代表取締役社長小林章一
従業員数：2840名
（男性490名、女性2350名）

■お問い合わせ 株式会社アルビオン
社長室 広報グループ TEL. 03-3538-7702

ALBION**【東京農業大学】**

1891年母体の東京農業大学設立
創設者榎本武揚の開拓者精神、初代学長横井時敬先生の「実学主義」を唱えている。1989年に、日本の食料基地で農畜水産資源の生産現場であるオホーツク網走に生物産業学部を開学。生物生産学科、アクアバイオ学科・食品香粧学科・地域産業経営学科を有し、生物資源の生産、加工、流通まで一貫して学ぶ「総合農学」である生物産業学の研究教育を行う。

■お問い合わせ 東京農業大学生物産業学部
生物産業学部 総務課 TEL. 0152-48-3803

農 東京農業大学